

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名	ごみ減量事業(ダンボールコンポスト)					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	上山 幸頭
体系	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	20	ごみの発生抑制			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款4	項2	目1	事業連番11287	法令根拠	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	②
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	可燃ごみの減量化のため、ダンボールコンポストに取り組んでもらうきっかけをつくる(モニター事業の展開)。人口の増加等によりごみの量が増加し、東部清掃工場の処理能力を平成32年頃には上回る見込みである。新しく処理施設を建設するためには多大な費用がかかるためごみの量を減らすことにより施設の延命化を図る。人口は今後も増加する見込みであり、ごみの量は増える。モニターとして実施した人が継続することによりごみの減量化が出来る。24年度からは、生ごみの減量化を総合的に推進するため、「生ごみ処理機器設置補助事業」と統合し、補助事業として取組む。
【業務の流れ】	広報誌等による周知、ダンボールコンポスト説明会及びフォローアップ講習会の開催、資材配布、実績報告
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	実践している人たちから「手軽にできて、臭いや虫も少ないので取り組みやすい」、「虫が発生したのでやめたい」等の意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO) ダンボールコンポスト説明会及びフォローアップ講習会を開催した。また、イベント時や店舗等での街頭啓発を行い、希望者には無料配布をした。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 24年度からは、生ごみの減量化を総合的に推進するため、「生ごみ処理機器設置補助事業」と統合し、補助事業として更なる減量化に取り組む。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) →ア:ダンボールコンポストに取り組んだ世帯数 イ:	(単位)世帯 予算の主な増減の理由 「生ごみ処理機器設置補助事業」に統合するため、この事務事業は廃止する。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア:世帯 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ごみを減らしてもらう	③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア:可燃ごみの量 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 ダンボールコンポストに取り組んでもらうことにより可燃ごみの減量推進に繋がることから、成果指標を「可燃ごみの量」とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
①	活動指標	ア:世帯 イ:	413	223	700	552				
②	対象指標	ア:世帯 イ:	20,276	20,400	20,600	21,104				
③	成果指標	ア:kg イ:	11,098,410	11,192,790	10,613,700	955,688				
投 入 費 量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	千円	484	521	852	466				
	(A)のうち指定経費	千円	0	53	73	71				
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	53	73	71					
人件費	正規職員従事人数	人	7	6	7	7				
	延べ業務時間	時間	510	590	520	880				
	(B)人件費計	千円	2,029	2,430	2,142	3,553				
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,513	2,951	2,994	4,019				

事務事業名	ごみ減量事業（ダンボールコンポスト）	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 ごみの減量化に努める。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 家庭で発生した生ごみを自家処理（ダンボールコンポスト）することは、ごみ減量対策の一つであり各家庭で簡単に取り組むことができ効果は大である。また有価物の再資源化を促進することは環境美化啓発、ごみ減量化に繋がる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ごみの減量化が目的のため、生ごみ処理機器設置補助事業と統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 「生ごみ処理機器設置補助事業」と統合し、補助事業とするので削減余地はある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 休日・夜間も説明会を行っており削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ダンボールコンポストの普及を行っているので公平公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ごみの量は年々増加している。各家庭から出る生ごみを堆肥化することは、ごみ減量に繋がるが、まだ自家処理を実施している世帯は多くない。そのためには行政が積極的に普及、啓発に努めなければならないので適正である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度は、随時ダンボールコンポスト説明会及びフォローアップ講習会を随時開催し、223名がモニターとして取り組んだ。モニターから継続して取り組んでいる方も多数いるが、新たにモニターとして取り組む方が少ない。定期的な説明会や出前講座、区等から要請があれば休日、夜間も出向いて説明会を実施しているが、啓発等のやり方を検討する。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 平成24年度から生ごみ処理機器設置補助事業と事業統合し、生ごみの減量化を総合的に推進する	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 特になし																					